

# 令和2年度 卸売業者の経営状況（概要）

## 水産物は減収増益、青果物は増収増益、花きは減収減益

〈東京都中央卸売市場の卸売業者 29 社（つけ物・鳥卵を除く）の  
令和2年度（令和3年3月期）事業報告書を集計〉

### ○ 水産物

売上高は減少し、営業利益及び経常利益は増益となった。

- 卸売業務における取扱数量は減少、販売単価も下落した。
- 売上高は卸売業務、兼業業務いずれも減少したため、減収となった。
- 売上総利益は、兼業業務に係る利益が増加したものの、受託販売に係る手数料が減少したため、全体では減益となった。
- 営業利益及び経常利益は、売上総利益の減少が販売費及び一般管理費の減少よりも小さかったため、増益となった。

### ○ 青果物

売上高は増加し、営業利益及び経常利益は増益となった。

- 卸売業務における取扱数量は減少、販売単価は野菜、果実いずれも上昇した。
- 売上高は、兼業業務が減少したものの、卸売業務が増加したため、増収となった。
- 売上総利益は、受託販売手数料・買付販売利益いずれも増加したため、増益となった。
- 営業利益及び経常利益は、販売費及び一般管理費が減少したため、増益となった。

### ○ 花き

売上高は減少し、営業利益及び経常利益は減益となった。

- 卸売業務における取扱数量は減少、販売単価は切花、鉢物いずれも上昇した。
- 売上高は、卸売業務、兼業業務いずれも減少したため、減収となった。
- 売上総利益は、受託販売手数料及び買付販売利益が減少し、兼業業務利益は横ばいとなったため、減益となった。
- 営業利益及び経常利益は、売上総利益の減少が販売費及び一般管理費の減少よりも大きかったため、減益（営業利益は損失が拡大）となった。

## 1 卸売業者数

取扱品目	卸売業者数及び本社所在地	
水産物	8社	<豊洲7、足立1>
青果物	10社	<大田3、豊洲・豊島・淀橋・板橋・世田谷 北足立・多摩NT 各1>
青果物(つけ物・鳥卵)	3社	<豊洲2、大田1>
食肉	1社	<食肉>
花き	7社	<大田・世田谷 各2、 北足立・板橋・葛西 各1>
合計	29社	

## 2 取扱数量・売上高及び収益状況

取扱品目別	事項	令和2年度	令和元年度	前年度比:%
水産物	取扱数量	345,568ト	365,179ト	94.63
	総取扱金額(売上高)	4,072億7,315万円	4,493億6,813万円	90.63
	売上総利益	211億869万円	212億8,759万円	99.16
	営業利益	8億2,621万円	4億6,448万円	177.88
	経常利益	18億5,491万円	16億3,612万円	113.37
青果物	取扱数量	1,883,029ト	1,946,830ト	96.72
	総取扱金額(売上高)	5,373億8,091万円	5,233億9,142万円	102.67
	売上総利益	373億3,716万円	358億3,347万円	104.20
	営業利益	32億7,779万円	7億2,777万円	450.39
	経常利益	43億1,900万円	12億6,973万円	340.15
花き	総取扱金額(売上高)	710億8,140万円	766億966万円	92.78
	売上総利益	68億6,990万円	74億8,767万円	91.75
	営業利益	▲1億5,890万円	▲5,616万円	-
	経常利益	1億1,782万円	1億1,948万円	98.61

## 3 総資産・負債・純資産

取扱品目	事項	令和2年度	令和元年度	前年度比:%
水産物	総資産	994億8,912万円	969億5,392万円	102.61
	負債	501億5,880万円	504億4,826万円	99.43
	純資産	493億3,033万円	465億567万円	106.07
	自己資本比率	49.58%	47.97%	-
青果物	総資産	715億3,633万円	670億7,337万円	106.65
	負債	185億6,389万円	174億8,209万円	106.19
	純資産	529億7,244万円	495億9,128万円	106.82
	自己資本比率	74.05%	73.94%	-
花き	総資産	195億6,935万円	182億7,482万円	107.08
	負債	108億5,755万円	95億3,664万円	113.85
	純資産	87億1,160万円	87億3,818万円	99.70
	自己資本比率	44.52%	47.82%	-

#### 4 各部門の比較

項目・取扱品目	水産物	青果物	花き	計
総取扱金額(売上高)	4,072億7,315万円	5,373億8,091万円	710億8,140万円	1兆157億3,546万円
売上総利益	211億869万円	373億3,716万円	68億6,990万円	653億1,574万円
売上総利益率	5.18%	6.95%	9.66%	6.43%
販売費及び一般管理費	202億8,248万円	340億5,936万円	70億2,880万円	613億7,064万円
営業利益	8億2,621万円	32億7,779万円	▲5,616万円	39億4,510万円
営業利益率	0.20%	0.61%	▲0.22%	0.39%
経常利益	18億5,491万円	43億1,900万円	1億1,782万円	62億9,173万円
経常利益率	0.46%	0.80%	0.17%	0.62%

※青果物は主たる取扱品目がつけ物・鳥卵である3社を除く。また、食肉を除く。

総取扱金額(売上高)は、青果物が5,374億円と最も大きい。次いで、水産物が4,073億円、花きが711億円となっている。

売上総利益率は、花きが9.66%、青果物が6.95%、水産物が5.18%、と花きが一番高い。

営業利益率は、青果物が0.61%、水産物が0.20%、花きが▲0.22%、と青果物が一番高い。

経常利益率は全取扱品目における営業外収益が営業外費用を上回っていることから、水産物及び青果物が営業利益率に比して高くなり、花きはプラスに転じている。

#### <参考>

##### 1 営業利益率

営業利益とは、会社が本業から上げる利益のこと。売上から、原材料費や仕入れ費用、販売費及び一般管理費などの本業に関わる費用を差し引いて求めたものが営業利益である。営業利益率は、企業の収益力を見るための指標であり、売上のうちのどれくらいが営業利益になるのかを見るもの。

$$\text{営業利益率} = \text{営業利益} / \text{総売上高 (受託+買付+兼業)} \times 100 (\%)$$

##### 2 経常利益率

経常利益とは、営業利益に受取利息や支払利息などの経常的に発生する本業以外の損益を加減して求めたものである。営業利益と同様、企業の収益力を見る指標である。

$$\text{経常利益率} = \text{経常利益} / \text{総売上高 (受託+買付+兼業)} \times 100 (\%)$$

##### 3 取扱品目別販売単価の推移

(消費税込み) 単位:円

取扱品目		2年度	元年度	30年度
水産物		1,068	1,129	1,147
青果物	野菜	251	236	246
	果実	462	433	433
花き	切花	67	66	67
	鉢物	607	584	565

注1 市場統計情報の部類別平均価格による

2 水産、青果の販売単価は1kgあたり

3 花き販売単価は切花は本、鉢物は鉢あたり

##### 4 利益率の推移

単位:%

取扱品目		2年度	元年度	30年度
水産物	営業	0.20	0.10	0.14
	経常	0.46	0.36	0.36
青果物	営業	0.61	0.14	0.02
	経常	0.80	0.24	0.15
花き	営業	▲0.22	▲0.07	0.11
	経常	0.17	0.16	0.25